

身近な自然の保全 滝ノ水北池で池干しを実施しました

滝ノ水北池池干し実行委員会
主催



調査で見つかった生きものの展示

構成団体

緑区滝ノ水学区連絡協議会
滝ノ水小学校 滝ノ水中学校
滝ノ水緑地の里山と湿地を育てる会
なごや生物多様性保全活動協議会
緑土木事務所
なごや生物多様性センター

平成29年11月26日(日曜日)に緑区の滝ノ水北池において池干しを行いました。2日前からポンプを用いて水位を下げ、当日は、午前中、地曳き網とタモ網を用いて生きものを捕獲し外来種を取り除きました。また、生きもの展示会を現地で開催し、地域の方にこの池の外来種や生物多様性についての説明を行いました。午後からは池底に溜まったヘドロの除去をバケツリレーで行いました。

本来、滝ノ水北池は、ホトケドジョウ以外の魚類は生息していなかったと考えられ、トンボ類を中心に水生昆虫が多く確認された池でした。

今回、池干した結果、在来種ではヒメタニシ、コシアキトンボ、ニホンイシガメなどの生息が確認できました。一方で、本来はこの場所に生息するはずのない生きもの(外来種)である、ブルーギル、オオクチバスといった特定外来生物をはじめ、アメリカザリガニ、ケンゴロウプナ(国内外来種)、キンギョなどが種数では約70%、生体重ではほぼ100%を占めていました。

人がもともとその場所にいなかった種を移すことにより、その場所での本来の生態系のバランスが崩れてしまうおそれがあります。今回の池干しでほとんどの外来種を取り除くことができました。その結果、飛翔能力の高いトンボ類を中心に水生昆虫が戻ってくるのが期待できます。しかし、これらの捕食者となるアメリカザリガニが激増することが予想されるため、その個体数を低く維持していくことが、本池の生物多様性を保全する上での課題となります。

なお、今回の調査を行うにあたり、10月14日(土曜日)に池干しの意義、池の成り立ちや現状を知ってもらう目的で事前学習会を、11月3日(金曜日)に池干しの予行演習を兼ねてハゴロモモの除去を実施しました。さらに、調査結果速報として12月6日(水曜日)に開催した、なごや生物多様性保全活動協議会主催の第52回定例会において調査結果速報を報告しました。

今後は、池干しによる効果や影響を確かめるため、継続したモニタリングをしていきます。

(滝ノ水北池池干し実行委員会)

池干しに伴う事前・当日調査で確認された生物

科	種名	個体数
タニシ科	ヒメタニシ	1
アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	48
トンボ科	コシアキトンボ	1
コイ科	ゲンゴロウプナ	14
	キンギョ	1
	モツゴ	1

科	種名	個体数
サンフィッシュ科	ブルーギル	640
	オオクチバス	11
イシガメ科	ニホンイシガメ	1
	クサガメ	1
ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	1

— : 下線は外来種

名城大学附属高等学校 自然科学部

中村区新富町1丁目3番16号



名城大学附属高等学校の自然科学部には、98名の生徒が所属しています。活動は、骨・飼育・発酵・天文・メディスンの5班に分かれて実施。生徒の意見を尊重しながら、それぞれ興味のあるテーマに向かって、個人やグループで楽しみながら活動しています。

そのうち、骨班では、白骨化させたヌートリアの頭骨を観察したり、魚の透明標本を作製し、ヒレの骨の数を比較したりします。

飼育班では、淡水魚や爬虫類、昆虫など6グループに分かれ、生き物の飼育はもちろん、繁殖にも挑戦中。さらに月1回、庄内川の生態調査へ繰り出してデータをまとめています。この調査を始めるまでには、地域活動への協力や講習会、藤前干潟での調査活動にも参加しました。

その他、部全体での合宿やボランティア、生徒運営の川のゴミ拾いなどにも積極的に取り組んでいます。

研究成果は、なごや生物多様性センターまつりや学会、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校主催の

イベントなどで発表。同じくSSH指定校の名城大学附属高校でも、毎年「SSH東海フェスタ」を開催し、他校との交流や情報交換を行っています。自分の好きな分野とあって、どの生徒も豊富な知識を持って語る姿が輝いていました。

今後は、研究発表に力を入れたり、生徒が企画し、自分のテーマ以外の活動を体験したりと、より質の高い活動を目指していく予定です。



掲示板

機関誌「なごやの生物多様性」第5巻を発行しました!

なごや生物多様性センターでは、地域で実践されている調査・保全活動等によって得られた、なごやの生物多様性に関する情報を、正確に記録し広く発信するため機関誌を発行しています。

第5巻では、相生山緑地に生息する「ヒメボタル」の発光頭数と月齢との関係や、西日本の各地で採集されたナミギセルのミトコンドリア遺伝子分析に基づく種の系統関係の調査に関する原著論文など16報が掲載されています。興味のある方は、ぜひ一度ご覧ください。機関誌は名古屋市公式ウェブサイトや名古屋市立図書館でご覧になれます。

生物多様性
専門員(植物分野)を
募集しています

なごや生物多様性センターで勤務する生物多様性専門員(植物分野)(嘱託員)を募集しています。詳しくは名古屋市公式ウェブサイトをご確認ください。申込期間:平成30年4月2日~平成30年4月17日
http://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000102943.html

問い合わせ・申し込み先

発行:名古屋環境局なごや生物多様性センター

住所 〒468-0066 名古屋市長元八事五丁目230番地
(地下鉄塩釜口駅2番または3番出口から徒歩5分)

電話 052-831-8104(平日 8:45~17:30) FAX 052-839-1695
E-mail bdnagoya@kankyokyo.city.nagoya.lg.jp

名古屋市公式ウェブサイト
http://www.city.nagoya.jp/

なごや生物多様性センター 検索



なごや生物多様性保全活動協議会
http://www.bdnagoya.jp

こちらから
アクセスできます

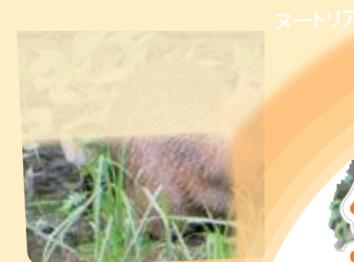


生きものシンフォニーのバックナンバーは、名古屋市公式ウェブサイトでご覧いただけます。

生きものシンフォニー

いのちかがやくなごや

平成30年3月 24号



ヌートリア



生きもの 情報募集中!

生物情報モニタリング
データベースの作成に
ご協力をお願いします。



ソウシチョウ



クサガメ



スイレン



アユ

CONTENTS

特集	生きもの情報募集中! 求ム!あなたの目撃情報!	P1~2
TOPICS	名古屋の哺乳類最新事情 平成29年度 主な行事等の実績 身近な自然の保全 滝ノ水北池で池干しを実施しました	P3 P4 P5
活動紹介	名城大学附属高等学校 自然科学部	P6
掲示板	機関誌「なごやの生物多様性」第5巻を発行しました!	P6

求ム! あなたの 目撃情報!

なごや生物多様性保全活動協議会の生物情報モニタリングデータベース部では、現在、名古屋市内にいる25種の情報を募集中です。対象の生きものを見つけたら、デジタルカメラなどで撮影して、インターネットから登録してください。十分な情報が集まったものから順次マップで確認できるようになります。詳しくは下記をご覧ください。

【生物情報モニタリングデータベース】<http://www.bdnagoya.jp/creature/database.html>

情報を募集している種

哺乳類	アライグマ	特定	は虫類	ニホンイシガメ	市	魚類	サツキマス・アマゴ	市
	タヌキ	市		クサガメ	市		ニホンウナギ	市
	ハクビシン	県		ニホンスッポン	県		アユ	市
	ヌートリア	特定		ミシシッピアカミミガメ	県			
鳥類	ツバメ		両生類	ニホンアマガエル	市	昆虫類	ムネアカハラビロカマキリ	
	イワツバメ			アズマヒキガエル	市		ハラビロカマキリ	県
	コシアカツバメ	市		ウシガエル	特定		タイワンタケクマバチ	県
	コアシサシ	市					クマバチ	
	ソウシチョウ	特定				植物	オオキンケイギク	特定
							外来スライレン	県

市：名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物（名古屋版レッドリスト2015より）、特定：特定外来生物、県：県条例公表移入種、→：下線は外来種

生きもの情報を データベースに 登録してみよう

インターネットで「なごや生物多様性保全活動協議会」のウェブサイトにアクセス!

「生きもの情報登録フォーム」より登録ください。

登録手順

1 種名を選択

「種名リストから選択」をクリックすると右図のように登録対象のリストが下にできます。登録したい種名をクリックしてください。



2 見つけた日を入力

実際に対象種を見つけた日付(年月日すべて)を入力してください。

3 見つけた場所をマーキング

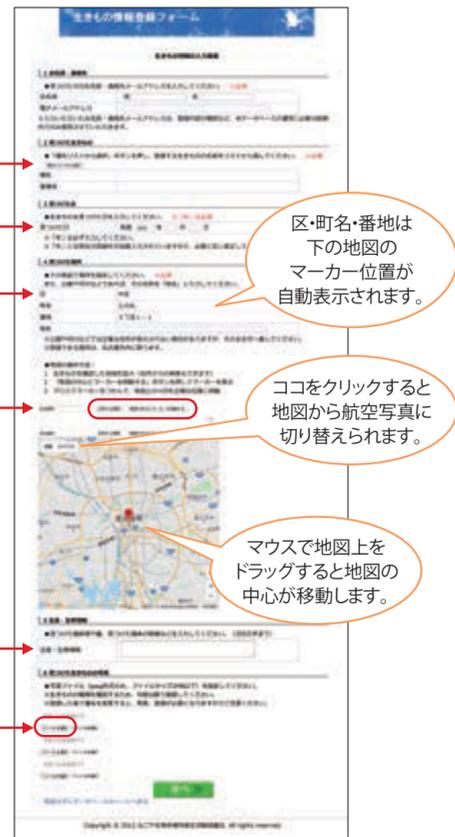
区・町名を入力して「住所から検索」ボタンをクリックすると地図の中心が入力した住所付近に移動します。「地図の中心にマーカーを移動する」をクリックし、さらに地図を拡大させ、マウスでマーカーをつかんで、地図上の×印を正確な位置に移動させてください。

4 生息・生育情報を記入

見つけた個体数や生育面積、観察時に気付いたことなどを記入してください。

5 画像データを登録

「ファイルを選択」をクリックするとファイルの選択ウィンドウが開きます。JPEG形式の画像(2MB以下)を3枚登録することができます。哺乳類は足跡やふんの画像、鳥類は巣の画像でも構いません。



名古屋の哺乳類最新事情

野呂達哉：なごや生物多様性センター・生物多様性専門員

名古屋市内では絶滅したと考えられていた ニホンジカを東谷山で再確認!

名古屋市内においてニホンジカは、江戸時代まで狩猟等の記録が残されていることから、かつて千種区や守山区、名東区などの東部丘陵地域に広く生息していたと考えられます。しかし、最近50年以上、市内での確実な確認例がないことから、名古屋市版レッドリスト2015では「絶滅」として記載されていました。ところが、2017年(平成29年)7月2日、センサーカメラによる哺乳類調査によって、市内の東谷山地域においてニホンジカが撮影されました。続いて9月、10月、11月にも撮影され、角の形状から確実に2個体の存在が確認できました。現時点では、繁殖の兆候はないものの、市内で繁殖した場合、生態系への影響や農作物への被害、交通事故による車両や人身への被害等が懸念されます。今後、東谷山地域において継続的にニホンジカの生息状況をモニタリングしていく必要があるでしょう。

港区でアカギツネを確認!

生きものシンフォニー7号と12号で紹介したように、名古屋市内では近年、アカギツネの分布が広がっているようです。今回、センサーカメラによって、新たに港区当知町でもアカギツネが確認されました。といっても確認されたのは町中ではなく、庄内川の河川敷で河口から2kmほどのところ。この場所は宅地と道路で囲まれており、川沿い以外にはほとんど緑地がありません。一見、アカギツネの餌となるような生物が住んでいるようには見えないのですが、河川敷には広大なヨシ原が広がっており、餌となる生きものは豊富なかもしれません。

これまで名古屋市内におけるアカギツネの確認事例が多いのは北東部の守山区ですが、今回確認されたアカギツネは庄内川に沿って守山区方面から河口域の港区へと移動してきたのでしょうか?それともどこか別の場所からやって来たのでしょうか?距離は離れていますが、最近では知多半島でもアカギツネの確認記録が増えています。また、稲沢市でもアカギツネが確認されています。名古屋市の市街地周辺でもみられるようになったアカギツネですが、どこか特定の場所から来ているのではなく、すでに各地とネットワーク状に繋がっているのかもしれない。



東谷山で撮影されたニホンジカ(2017年7月2日)



港区当知町で撮影されたアカギツネ(2017年12月11日)

平成29年度 主な行事等の実績

センター…なごや生物多様性センター主催 協議会…なごや生物多様性保全活動協議会主催

【 】内は開催場所。場所の記載のない行事はなごや生物多様性センター。

日付	名称【開催場所】	主催
平成29年		
4月29日	なごや生きもの講演会&報告会～調査から見えた今のなごや～	【名古屋市立大学】 協議会
5月20日	山崎川オオキンケイギク抜き取り会	【山崎川】 協議会
6月3日	第30回生物多様性カフェ コケ(地衣類)が人類を救う?	センター
7月8日～8月10日	なごや生物多様性サマースクール2017(14講座 ※うち1講座雨天中止)	【各所】 協議会
8月27日	第31回生物多様性カフェ 生物と文化の多様性	センター
9月1日～3日	なごや生きもの一斉調査～淡水貝編～	【27箇所】 協議会
9月16日	環境デーなごや2017中央行事に出展	【久屋大通公園】
10月8日	動物フェスティバル2017なごやに出展	【久屋大通公園】
28日	第4回なごや生物多様性センターまつり・生物多様性ユースひろば	センター
11月18日	第32回生物多様性カフェ 遺伝子からみた生物多様性	センター
26日	池干し【滝ノ水北池】	
平成30年		
1月13日	第33回生物多様性カフェ ニホンザルをめぐる外来種問題	センター
3月10日	第34回生物多様性カフェ 爬虫類のはなし:進化、生態、寿命	センター
30日	機関誌「なごやの生物多様性」第5巻発行	センター
通年	市政出前トーク・なごやエコスクール等出前講座等	【各所】 センター
通年	アライグマ防除	【各所】 センター
通年	市民協働による調査保全活動	【各所】 協議会
通年	定例会(学びあう会)偶数月第一水曜日(全6回)	協議会
通年	野生生物の生息・生育実態調査	センター

生物多様性カフェの実施にあたり、次の皆様のご協力をいただいています。

【協賛】株式会社坂角総本舗、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社(五十音順)

なごや生きもの報告会&講演会

なごや生物多様性保全活動協議会の平成29年度活動を報告します。あわせて、ふじのくに地球環境史ミュージアム 岸本年郎様の講演会を予定しております。最新のなごやの生きもの情報をお伝えしますので、ぜひお越しください!

日時 平成30年5月13日(日) 午後1時から4時
会場 名城大学(ナゴヤドーム前キャンパス)南館 3階 DS304講義室
定員 150名(申し込み不要・当日先着順)



だなも
「生物多様性キャラクター応援団」